

# 平成30年 **11**月の**思いやり**通信

## 目次

 エコライフ — 窓の役割と種類

(2)  未稼働の太陽光にメス 経産省、電力買い取り減額検討



## エコライフ — 窓の役割と種類

### ☆窓の役割は

- ・風を通す（換気）、防ぐ
- ・光を取り入れる、遮る
- ・断熱
- ・景色が見えるようにする
- ・防犯、防虫、雨を防ぐ、プライバシーの保護といった役割を担うことも。



### ☆窓の断熱性を高める方法

- ・窓の断熱性能を向上させるには、家全体の窓の面積を小さくすることと、窓の材質や構造を見直すこと。
  - ・窓の材質は、現在は2枚使っているダブル、ペアガラスが主流。
  - ・3枚使っているものトリプルだとさらに断熱性能は高くなります。値段は高くなりますが、光熱費の節約につながります。
  - ・窓枠に使われている「サッシ」もよく検討する必要があります。
  - ・アルミサッシが普及していますが、アルミは非常に熱を伝えやすいので、断熱性能があまりよくありません。
  - ・窓枠の素材の種類を工夫することが必要です。
  - ・断熱性能が高くなる順番は、①木 ②全部樹脂 ③アルミと樹脂の複合（アルミの室内側に樹脂を被せたもの） ④アルミ。
  - ・ガラス面と窓枠を比べると、ガラス面の方が断熱性能は高くなります。
  - ・窓枠の断熱性を向上させることが、効果的に断熱性能を強化する秘訣です。
  - ・冬は熱を逃がさないようにするため、できるだけ内側で熱をキープします。
  - ・冬はカーテンを厚手にするというのが一般的です。
- (高垣吾朗氏著「夢を叶える家づくり」より引用・抜粋)

(2)  未稼働の太陽光にメス  
経産省、電力買い取り減額検討

割高既得権の業者に照準

- ・経済産業省は、太陽光発電の固定買取制度（F I T）の見直しを加速させます。
- ・2012年に制度を始めたばかりの頃に認定を受けたまま発電を始めている案件について、買取価格を減額する方向で検討します。
- ・太陽光でつくった電力の買取価格は、F I Tを始めた当初の2012～14年度に事業用で1キロワット時あたり32～40円。現在の18円を大きく上回ります。
- ・高値の時に認定を受けておけば、発電開始が何年後でも認定時の条件で高く売電できます。
- ・買取価格が高値だった2012～14年度の3年間に認定された案件で、未稼働分は約2400万キロワット。同期間に認定された全容量の4割強を占めています。
- ・買取価格が高値の時に再生エネ事業の権利を手にし、そのまま寝かせておいた業者は外国資本に多いといいます。

（2018年10月5日 日本経済新聞記事から抜粋引用）

